

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
<b>2. 安心して暮らせるぬくもりの街</b>					
市民とともに災害に備えるまちづくり					
P17			市有施設の耐震化関連	地域振興部	236,326
				保健所	2,097
				生涯学習部	13,402,762
P18			災害に強い道づくり事業	土木部	2,976,788
P19			市民防災センターリニューアル事業	消)総務部	129,000
P20			消防救急デジタル無線共同整備事業等	消)総務部	3,729,754
P21			震災時消防体制強化事業関連	消)総務部	65,375
地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
P22			重症心身障がい者生活介護等受入促進事業	保健福祉部	45,000
P23			障がいのある子どもへの移動支援の充実	保健福祉部	128,882
P24			特別養護老人ホームの新築費等補助事業	保健福祉部	528,000
安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実					
P25			職業能力開発サポート事業	雇用推進部	47,000
P26			救急安心都市さっぽろ推進事業	消)総務部	86,258

(単位: 千円)

## 目的

震災時、応急活動の拠点となる施設や児童生徒の安全及び地域住民の避難場所としての機能を確保するため、区の施設や学校施設等の耐震化を推進

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	448,351	4,010,976	-	-
(うち一般財源)	(230,473)	(878,177)	-	-
事業費	4,167,049	9,630,209	-	-
(うち一般財源)	(2,640,945)	(6,273,872)	-	-

## 耐震化事業

[事業費4,010,976千円]

### (1) 一般施設等

- ・区役所等(設計) 36,783千円  
3区役所、3区民センター
- ・南保健センター(設計) 2,097千円
- ・青少年科学館(設計) 12,160千円

### (2) 学校施設

- ・工事(着手25校) 3,614,827千円  
(継続12校含)
- ・設計(着手28校) 345,109千円  
(継続15校含)

H26までに改築予定の学校を除く全ての必要校の補強を完了予定

## 改築事業

[事業費9,630,209千円]

### (1) 一般施設等

- ・定山溪出張所(工事等) 199,543千円

### (2) 学校施設

- ・改築工事(4校) 9,178,614千円  
北白石小・中学校、北九条小、手稲中
- ・設計等 252,052千円

## 目的

緊急輸送道路に指定されている道路ネットワークの信頼性を確保し、災害時緊急輸送の確実性を向上

## 事業内容

緊急輸送道路に架かる橋りょうの経年劣化等を計画的に補修するとともに、橋脚補強や落橋防止などの耐震補強を実施

- ・ 橋りょう長寿命化工事  
南19条大橋(豊平川)など 13橋 2,649,488千円
- ・ 橋りょう耐震補強工事  
幌平橋など 3橋 327,300千円

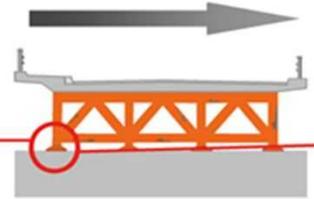
	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	3,013,000	2,976,788	-	-
(うち一般財源)	(204,000)	(402,788)	-	-

**橋りょう長寿命化** ※事後保全から予防保全への転換

事後保全型  
(従来からのやり方)  
【損傷状況】



橋桁の一部に、鋼部材の中まで錆による腐食が深く進行(損傷が深刻になってから処置)



予防保全型  
【損傷状況】



点検により、橋桁の一部に点状に発生している錆を発見(軽微な損傷のうちに処置)

鋼部材の取替え、あて板補修	工法	小規模な錆落とし、塗装
長期間	工期	短期間
高コスト	補修費	低コスト

**橋りょう耐震補強**

橋脚補強  
地震時に弱点となる橋脚を補強する



【鉄筋コンクリート巻立補強】

落橋防止システム  
橋げたが落ちないように装置を設ける



【落橋防止装置】

変位制限装置



【変位制限装置】

(単位:千円)

## 目的

様々な災害シミュレーションを繰り返し体験することで、災害の恐ろしさと自らを守る方法を知り、市民一人ひとりの防災意識と災害への対応力を向上

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	129,000	-	-
(うち一般財源)	0	(129,000)	-	-

## 事業内容

東日本大震災やH16年の暴風災害などの教訓を活かした体験設備の新設及びリニューアル

- ・津波体験コーナー新設 20,000千円
- ・暴風体験コーナー新設 45,000千円
- ・地震体験コーナー更新 46,000千円
- ・防災情報コーナー更新 18,000千円

## スケジュール

H25年3月 リニューアルオープン



# 消防救急デジタル無線共同整備事業等

消)総務部

(単位:千円)

## 目 的

119番通報から現場到着までの時間を短縮するため、システムの整備等を実施

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	940,000	2,908,000	-	-
(うち一般財源)	(53,622)	(162,360)	-	-
事業費	667,000	821,754	-	-
(うち一般財源)	(167,000)	(205,754)	-	-

## 消防救急デジタル無線共同整備事業

[事業費2,908,000千円]

電波法関係審査基準の改正に伴い消防救急無線をデジタル方式に移行(本市を含む石狩振興局管内の6消防本部の共同整備)

デジタル方式移行に合わせ、通話内容の秘匿性確保や通信の高度化を図る(データ伝送・ショートメッセージ交信)

- ・ H24年度事業費 2,908,000千円  
(うち札幌市の実質的負担56.13%)

H23～25年度総事業費 4,698,000千円

【サンセット：H25年度末】

## 消防指令システム整備事業

[事業費821,754千円]

通報の内容に応じた最適な出動部隊を編成、指令を自動的に行う消防指令システムを更新整備し、車両動態位置管理機能を導入

- ・ H24年度事業費 821,754千円

H23～25年度総事業費 2,145,000千円

【サンセット：H25年度末】

# 震災時消防体制強化事業関連【新規】

消)総務部

(単位:千円)

## 目的

東日本大震災の教訓を生かし、札幌市で同様の大規模災害が発生した場合を想定して、より迅速で効果的な活動が行えるよう消防隊及び救助隊の体制を強化

### 高度消防活動用資機材・都市型搜索救助資機材整備

[事業費21,341千円]

生存率が急激に低下するとされる被災後72時間以内の早期救出活動を行うための消防救助体制強化

- ・ 高度消防活動用資機材 13,192千円
- ・ 都市型搜索救助資機材 8,149千円

#### 特別消防隊の編成

困難性の高い災害現場で消火活動等を専門に行う部隊を編成  
 高度消防活動・都市型搜索救助資機材の導入  
 迅速で効果的な活動が行えるよう救助資機材を整備



特別消防隊イメージ



都市型搜索救助資機材

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	21,341	-	-
(うち一般財源)	(0)	(21,341)	-	-
事業費	0	44,034	-	-
(うち一般財源)	(0)	(10,034)	-	-

### 給油・空気充てん施設整備

[事業費44,034千円]

大規模な災害に備え、消防活動上必要な車両燃料と災害時に使用する空気ポンベの充てんの補給体制を確保

- ・ 給油施設 38,384千円
- ・ 空気充てん設備等 5,650千円

#### 給油施設及び空気充てん設備の設置



給油施設イメージ



空気充てん設備

目 的

医療的ケアを必要とする重度の障がいのある方が安心して日中活動等に参加しながら、充実した地域生活を送ることができるよう、事業所の体制整備を支援

事業内容

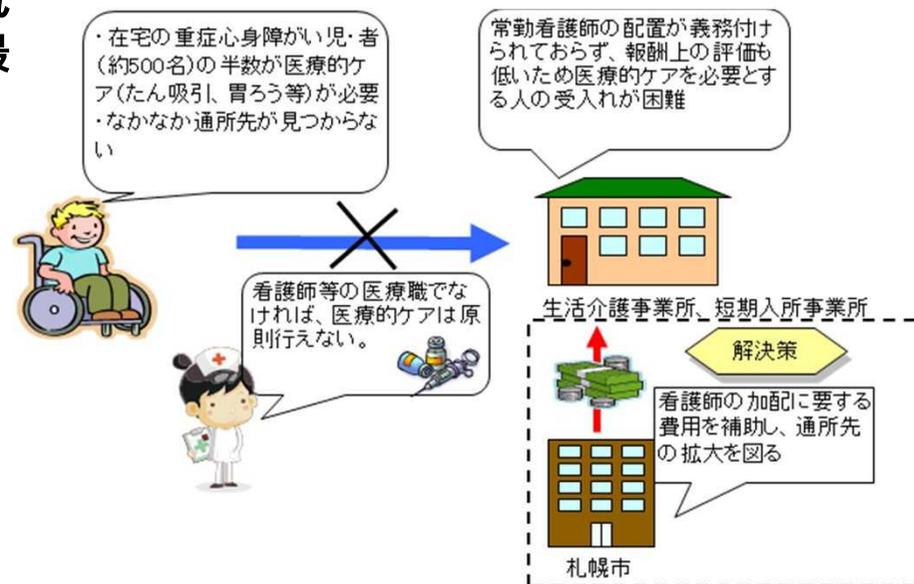
医療的ケアを必要とする障がい者を受け入れるために看護師を加配した事業所に対して、最大3年間の補助を実施

- ・補助対象（人件費） 4,000千円
- ・補助率 1年目3/4 2年目2/4 (1/2) 3年目1/4
- ・補助事業所数  
生活介護：10事業所  
短期入所：5事業所

【サンセット：H26年度末】

(単位：千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	45,000	-	-
(うち一般財源)	(0)	(45,000)	-	-



# 障がいのある子どもへの移動支援の充実

保) 保健福祉部

## 目的

障がいのある子どもの通学時の安全確保や保護者の就労を促進するため、1人での通学が困難な子どもを対象とした通学支援を実施

## 事業内容

両親の就労や障がい等やむを得ない事情のある世帯に限定して、移動支援の利用範囲を通学まで拡大

- ・事業費 128,882千円
- ・対象者 297人(就労285人、障がい等12人)

## スケジュール

～H24.1 移動支援ガイドラインの整備等  
今年度中 利用者及び事業者にも周知  
H24.4～ 対象者範囲を拡大

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	128,882	-	-
(うち一般財源)	0	(128,882)	-	-

【24年度総要求額】 1,053,788千円

### 現状

「主な介助者が通学に付添えないとき、学校を欠席している。」 36.5%  
「通学支援があれば就労したい」46.4%  
(平成22年度アンケート調査より)

障がい児の通学が、保護者の心身状況に左右され、通学にも多大な影響を及ぼしている。

両親の就労などの事情がある世帯に通学利用への拡大

### 結果

安定的な通学手段を確保  
保護者の就労を促進



# 特別養護老人ホームの新築費等補助事業 保) 保健福祉部

## 目的

在宅等において生活が困難な高齢者が、  
介護を受けながら、安心した生活を送る  
ことができる場の確保

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	363,000	528,000	-	-
(うち一般財源)	(31,000)	(36,000)	-	-

## 事業内容

広域型特別養護老人ホーム(定員80人)4施設の新築費補助

・ 予算要求額: 528,000千円

(平成23年2定補正追加分) 132,000千円=165,000千円(1床あたり2,062.5千円)×年度内工事進捗率80%×1施設

(平成24年度着手分) 396,000千円=165,000千円(1床あたり2,062.5千円)×年度内工事進捗率80%×3施設



# 職業能力開発サポート事業

経) 雇用推進部

## 目的

雇用のミスマッチ解消を図るとともに、産業振興ビジョンで定める重点分野へ、求職者の正社員またはフルタイムでの就業を促進

## 事業内容

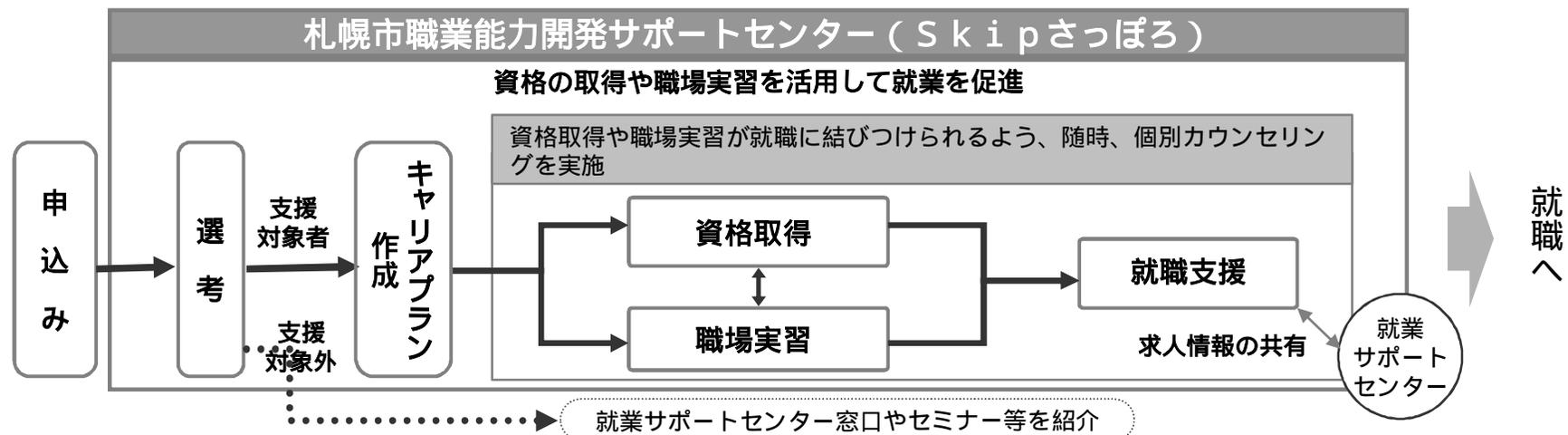
産業振興ビジョンの重点分野の就職に有利な資格・スキルの取得及び職場実習を行い、それらを生かした就職活動の支援を実施

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	48,000	47,000	-	-
(うち一般財源)	(48,000)	(47,000)	-	-

- ・資格取得(240人) 24,000千円
- ・職場実習(延べ60人) 6,016千円
- ・センター運営費等 16,984千円

【サンセット：H26年度末】



# 救急安心都市さっぽろ推進事業【新規】

消) 総務部

(単位:千円)

## 目的

救急救命士による新たな救急救命処置拡大、ICTを活用した医療機関との連携による救命率の向上

ICT: 通信情報技術。音声とともに動画を送ることが可能となり、従来の電話等による音声のみと比べ、より正確、具体的な情報伝達が行える。

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	31,487	-	-
(うち一般財源)	(0)	(31,487)	-	-
事業費	0	27,027	-	-
(うち一般財源)	(0)	(27,027)	-	-
事業費	0	27,744	-	-
(うち一般財源)	(0)	(27,744)	-	-

### 新救急高度化推進事業 (拡大3行為)

[事業費31,487千円]

救急救命士による新たな救急救命処置拡大3行為の教育・実施体制を整備し、傷病者の救命率向上・後遺症低減を図る

- 救急救命士への追加教育費用 16,292千円
- 現場使用資器材の整備 8,921千円
- 検証及び指示体制強化費用 6,274千円

### ビデオ喉頭鏡を用いた 気管挿管実施事業

[事業費27,027千円]

ビデオ喉頭鏡を用いることにより、様々な状況下で救急救命士による安全・確実な気管挿管を可能にする

- 救急救命士への追加教育費用 10,099千円
- 実習・現場使用資器材の整備 16,643千円
- 検証費用 285千円

### ICT心電図伝送システム整備

[事業費27,744千円]

ICTを活用して医療機関への心電図伝送を早期に行うことにより、医療処置開始時間を短縮

- 心電図伝送関連機器 22,912千円
- 心電図ケーブル 1,040千円
- 通信費 3,792千円

#### 救急救命処置拡大3行為

- 血糖値測定と低血糖発作症例へのブドウ糖投与  
右図参照
- 重症喘息患者に対する吸入β刺激薬の使用
- 心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施

